

『第16回合同合宿を実施』

3月3日から4日に中国、九州北部地区および清水団の指導者、12団130名（指導者39名・団員91名）が集結し、第16回目となる春季合同合宿を梅の花が満開になりつつあった北九州市若松区の施設で実施した。

初日は、級別の講話、基本動作訓練、レクリエーション等を実施。

基本訓練では、90名での基本的動作、隊での報告要領などを実施、教育級は戸惑いを見せる場面もあったが、単位団ではあまり経験のできない人数での基本訓練となった。

級別の講話では、社会問題となっているSNS等での言葉の大切さや、少年団活動における友達の存在等と、短時間であるが団員にとっては興味深い講話となり、一部指導者からも講話を聞きたかったと残念がる一言もあった。

この間、指導者は各団での活動報告、団員確保に向けた悩み等予定時間を越す白熱した情報交換会となった。

夜は、じゃんけん大会。じゃんけんをしながら色々なレクリエーション、終始笑顔が絶えない時間を過ごし、時間が足らなくなるくらいに盛り上がった。



二日目は、昨日の寒さがレクリエーションでの元気の良さで飛び去ったような春の陽気に。

初等級以上の団員と団長をはじめ指導者も一緒になって野外炊飯でカレー作りを実施。

同じ材料なのに、各班が特色のあるカレーを作り、皆が満面の笑みで食事をしていた。

野外炊飯場は手狭なために教育級はレクリエーション。体をいっぱい動かし、楽しい時間を過ごした後は、食事は指導者と班長達が作ったカレーを一緒に食べ、大盛のカレーを平らげる元気ぶりであった。



一泊二日と短時間ではあったが、「さいかい」のテーマで多くの仲間と再会し、止まっていた仲間との時間を再開した思い出に残る合宿となった。

最後に、団員を快く参加させてくれた保護者の皆さまと指導者に感謝します。

